

市民協働事業 相互評価シート

1 市民協働事業の概要

事業名称	令和6年度横浜市中心小企業人材確保支援事業		
事業の実施者	団体等	パーソルキャリア株式会社	
	行政	横浜市経済局ものづくり支援課	
事業の目的	中小企業のより効果的な人材確保を支援するため、ウェブサイトを利用した求職者とのマッチングを行う求人情報の掲載や、企業自身の採用力を強化するセミナーの開催を目的とする。		
事業の内容	1. 転職サイトへの市内中小企業の求人掲載及び更新 2. 人材確保セミナーの企画・広報・運営 3. 事業計画書の提出、事業効果の把握、アンケートの実施、業務改善提案		
役割及び責任分担等			
	事業項目	受託者の役割	委託者の役割
	企業募集	1 企業向けチラシ作成	1 チラシのデザイン・レイアウト等の修正に関する企画協力・連絡調整等 2 記者発表、メールマガジン配信等の広報
	企業受付・審査・掲載	1 受付・企業リスト作成 2 企業への審査結果通知 3 応募企業に対する質問対応 4 掲載料の徴収 5 求人票掲載	1 企業の条件審査 2 掲載企業決定 3 その他事業の実施において必要な事項への調整や協力
	掲載後フォロー等	1 採用課題を持つ企業へのサポート 2 掲載企業への相談対応 3 求職者向け広報に対する協力（バナー作成等）	1 求職者への広報 2 企業に対して本市人材確保支援メニューの提供 3 その他事業の実施において必要な事項への調整や協力
	人材確保支援セミナー	1 参加者受付 2 アンケートの実施	1 セミナーに関する企画協力・連絡調整 2 参加者の掘り起し、広報協力 3 その他事業の実施において必要な事項への調整や協力
実施期間	契約締結から令和7年3月31日まで		

記入日	令和 7 年 4 月 2 日
記入者	[団体等] ・団体等名： パーソルキャリア株式会社 ・記入責任者 疋田 祥介 氏 名： 高木、疋田 連絡先： 03-6213-9000
	[行政] ・部署名： 経済局ものづくり支援課 ・記入責任者 氏 名： 渡邊、石上 連絡先： 045-671-2567

2 事業実施プロセス相互チェックシート

このチェックシートは、事業実施に伴う、それぞれの段階で、必要なことができていたかどうか、相互にチェックをおこなうシートです。相互の視点からチェックを行い、その後、「2 事業評価相互検証シート」で総合的な評価検証をおこないます。

◎相互チェックシートの評価基準

よくできた	まあまあできた	あまりできなかった	まったくできなかった
A	B	C	D

①事業計画段階

		団体等	行政
1	自分たちが達成すべき大きな目的やミッションについてよく話し合うことができましたか。	A	A
2	お互いの立場や組織の違いを話し合ってよく理解することができましたか。	A	A
3	ニーズを把握して共有するとともに、この事業の目標と実施方法を話し合って決めることができましたか。	A	A
4	実現のためにそれぞれが何をできるかを考え、話し合って役割分担を決めることができましたか。	A	A
5	会計のルール等、お互いの組織内部の取り決めについて、説明し合ってよく理解することができましたか。	A	A
6	事業を始めることや計画中であることを、ホームページや会報等を使って市民に発信することができましたか。	A	A

②事業実施段階

		団体等	行政
1	率直な意見交換のもとに、お互い対等な立場で事業をすすめることができましたか。	A	A
2	お互いの強みや得意分野を、どう生かし合えるかを考え、提案しながら取り組むことができましたか。	A	A
3	相手に任せっきりにせず、お互いが役割を自覚して積極的に取り組むことができましたか。	A	A
4	事業の進捗に応じて、目標、ニーズ、対象、実施方法などをふりかえり、修正しながら取り組むことができましたか。	A	A
5	必要に応じ、関連する他の部署や団体などを巻き込みながら事業をすすめることができましたか。	A	A
6	事業終了後の見通しについて、話しながら取り組むことができましたか。	B	A
7	事業の進捗状況を、ホームページや会報等を使って市民に発信することができましたか。	B	B

③ふりかえり段階

		団体等	行政
1	協働することで、単独でおこなうのに比べてどのような効果が得られたか、話し合って共有できたか。	A	A
2	受益者が満足を得られたかどうかについて、話し合って確認することができたか。	A	A
3	これまでも振り返って、お互いの考えに相違点がなかったかについて話し合い、確認する事ができたか。	A	A
4	期待された事業成果を得られることができたか。	A	A

3 事業評価相互検証シート

事業実施プロセス相互チェックシートでおこなった結果をもとに、相互で本検証シートを作成します。

事業の計画づくり (協働して事業計画をつくるにあたり、お互いに共有できたことや認識に違いがあったこと、今後、改善が必要と思われることはどのようなものですか。)
【共有できたことや認識に違いがあったこと】 ・有料求人サイトへの掲載支援について、中小企業から求められる施策であること。 ・求人票掲載後に応募者の獲得に苦戦している企業への支援が求められていること。 ・求人票掲載に加えて、企業の採用力強化につながる情報提供が必要であること。 ・社会環境変化に伴う求人数の増加により、採用難易度が高まっていること。
【今後改善が必要と思われること】 ・求人票作成に苦戦し、求人票掲載にいたらない企業が一定数出てしまうため、求人票作成に関する支援を工夫する必要がある。 ・企業の更なる採用力の強化に向け、個社別相談の実施件数を増加させるため、アナウンス方法を工夫する必要がある。
事業実施 (協働して事業を実施した結果、お互いに共有できたことや認識に違いがあったこと、今後、改善が必要と思われることはどのようなものですか。)
【共有できたことや認識に違いがあったこと】 ・業種や職種で求人への応募数に偏りがあること。 ・求人票作成においては、待遇面等、アピールポイントを工夫することで応募が伸びることがわかった。
【今後改善が必要と思われること】 ・求人票掲載後に応募者が獲得できなかった企業へ、全く支援していなかった場合を除き、さらなる支援策を検討する必要がある。 ・より多くの応募者の獲得に繋がる求人票を作成するため、企業自身が自社の特徴を整理できるよう、個社別相談やセミナーを通じた情報提供等の工夫を検討する必要がある。
事業の成果 (協働して事業を実施した結果、当初期待された事業効果がどのような成果となりましたか。)
・求人票掲載企業の約 94%が応募者を獲得し、中小企業の人材採用支援につながった。 ・採用状況アンケートに回答いただいた企業の採用決定率が 23%と、20%超の企業が採用につながる結果となった。 ・セミナーのアンケート結果が、97%超の企業から「参考になった」と回答いただけており、多くの企業の採用力強化支援につながる情報提供を行えた。 ・本事業を通して、転職市場の変化により、既存の採用手法だけでなく様々な手法を活用することで人材採用力を上げることに繋がることを理解してもらえた。
自由記入欄
・社会環境変化に伴う求人数増加により、今後はより採用市場が厳しくなることが考えられる。 ・令和 6 年度までの事業振り返り及び効果検証を行い、今後も中小企業の人材確保により効果的な内容を検討しながら、関連事業の実施に活かしていきたい。